

GIGA 端末活用実践事例

宇都宮大学共同教育学部附属中学校：指導者：大塚 正也

教科・領域等	学年	単元名・題材名等
道徳	2	「本当の私」【出典：新しい道徳2（東京書籍）】

1. GIGA 端末活用のポイント

(1) 本時の目標

エイミーのことをどう思ったか考えるを通して、よりよく生きる喜びや自主，自律，自由と責任などの道徳的諸価値を相互に関連付けながら理解し，道徳的な判断力を育てる。

(2) 活用アプリ

ロイロノート

(3) GIGA 端末以外で利用した機器

(4) アプリの活用場面と目的

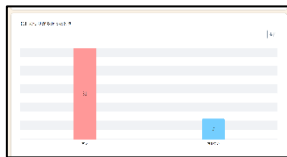
<input checked="" type="checkbox"/> オンライン	<input type="checkbox"/> オフライン
---	--------------------------------

授業での活用場面（授業概要）

本時は、「エイミーについてどう思ったか。」について考えさせ，その意見に対して補助発問を中心に問い返すことで，考えを揺さぶったり，深めさせたりして，自分たちの考えを多面的・多角的に考えられるようにしていく授業である。ICT の活用場面は3つで，①導入でのアンケート，②意見の共有では，結果をスクリーンに示したり，回答共有したりすることで意見の全体像を見る機会を設けた。また，③振り返りの共有では，学級全員のさまざまな考えに触れる機会を設けた。

2. GIGA 端末活用の画面例（写真等）

①導入でのアンケート…2つの場面において、「言う」か「言わない」か，を質問し結果をスクリーンに示して理由を聞いた。

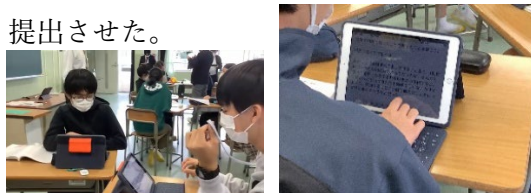


②12グループの意見の共有…「エイミーについてどう思ったか。」について考えた意見をグループで1つ提出させた。

<p>エイミーについてどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 心が狭い ドレーピングをしたのはいい 華奢感があったのはいい 	<p>エイミーについてどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 華奢感があるから好き ドレーピングがかわいくない ドレーピングはいい 華奢感がある 	<p>エイミーについてどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 心が狭い 華奢感がある ドレーピングをしたのはいい 華奢感があったのはいい
<p>エイミーについてどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 華奢感がある ドレーピングをしたのはいい 華奢感があったのはいい 	<p>エイミーについてどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 心が狭い 華奢感がある ドレーピングをしたのはいい 華奢感があったのはいい 	<p>エイミーについてどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 心が狭い 華奢感がある ドレーピングをしたのはいい 華奢感があったのはいい



③振り返りの共有…授業で印象に残ったことや考えたことをテキストにまとめさせ，提出させた。



3. 効果と課題

(1) GIGA 端末 (アプリ) を活用して効果的だった点

一斉学習	<input type="checkbox"/>	教師による教材の提示				
個別学習	<input checked="" type="checkbox"/>	個に応じた学習	<input type="checkbox"/>	調査活動	<input type="checkbox"/>	思考を深める学習
	<input type="checkbox"/>	表現・制作	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	
協働学習	<input checked="" type="checkbox"/>	発表や話し合い	<input type="checkbox"/>	協働での意見整理	<input type="checkbox"/>	協働制作
	<input type="checkbox"/>	学校間の交流	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	

・授業内でアンケートを実施し、その結果をスクリーンに示すことや、グループの意見を回答共有することで、短時間で学級全体の状況をつかむことができた。そのことが、自分と同じ立場の級友がいる安心感から、積極的な自己の考えの開示につながっていた。

・振り返りで、印象に残ったことや考えたことをテキストに書かせ回答共有することで、級友のさまざまな考えにふれさせることができた。ICT が導入される前は、3人ほどの任意小集団での意見交流が多かったが、回答共有を使うことで学級全員の考えに触れることが出来るようになった。

(2) GIGA 端末 (アプリ) を活用して課題に感じた点

一斉学習	<input type="checkbox"/>	教師による教材の提示				
個別学習	<input checked="" type="checkbox"/>	個に応じた学習	<input type="checkbox"/>	調査活動	<input type="checkbox"/>	思考を深める学習
	<input type="checkbox"/>	表現・制作	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	
協働学習	<input checked="" type="checkbox"/>	発表や話し合い	<input type="checkbox"/>	協働での意見整理	<input type="checkbox"/>	協働制作
	<input type="checkbox"/>	学校間の交流	<input type="checkbox"/>	家庭学習	<input type="checkbox"/>	

・回答共有などの場面で、読むことに集中し、他の生徒の意見を聞いていない場面があった。時間を決めるなどの策を講じる必要がある。

・ICT を使用したときの板書計画をよく考えることが大切だと感じた。ICT が板書の替わりにもなる部分もあるが、板書の必要性もあるので、その両立が難しかった。